

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日: 令和7年9月9日(火)

場 所: 東伊豆町保健福祉センター(賀茂郡東伊豆町白田306)

主 催: 静岡県

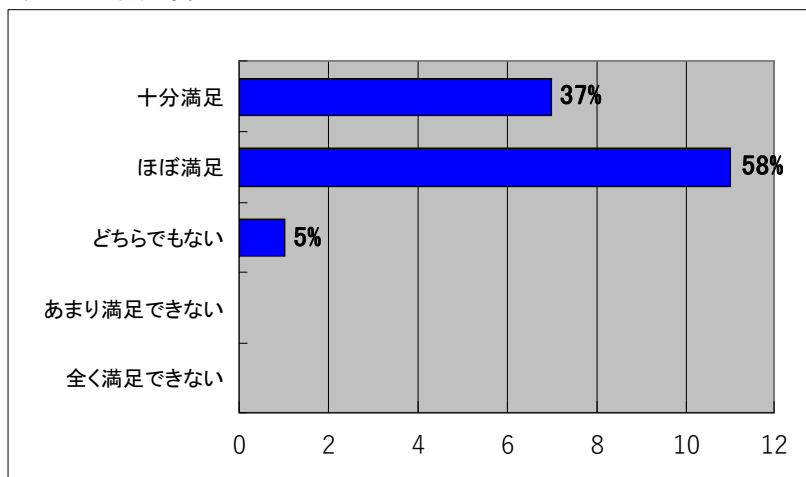
I 参加者

参加者:

人 数: 23人(男性0、女性23)

II タウンミーティングについて

(1) タウンミーティングの満足度



III 意見・感想(アンケートから抜粋)

- 食品の施設等の監視の際は、抜き打ちで事業者の本来の施設を監視してほしい。
- 食の安全について、静岡県の取り組みを知ることができて良かった。
- 食品表示をわかっているつもりでいたが、説明、資料が詳しくとても参考になった。
- 食育の大切さを改めて感じ、食生活推進員としてこれからも頑張りたいと思った。
- 参加できてよかった。今までこのような機会がなかったので、もっと機会を増やしてほしい。

IV 参加者からの意見・質問

Q: 食品表示で重量の記載がないものがある。記載されていれば、同じ値段で量を減らされた場合に気がつくことが出来る。

A: 表示法の他に、計量法という法律があり、重さを記載しなければならない品目が決まっている。
袋詰めされた食塩等の外見からは量がわからないものに適用され、重さの表示が義務づけられている。

Q: 食品表示の期限表示について、ルールや決まりがあるのか。惣菜など、お店によってバラバラだと感じる。

A: 消費期限や賞味期限は、消費者庁がガイドラインを示しており、それを基に、事業者が各自責任を持って決める。
例えばクッキーといっても、どういった環境でどのように作るかによって、賞味期限は変わってくるので、それぞれの事業者が科学的根拠を基に決めることになっている。

Q: 東伊豆町健康づくり食生活推進協議会の活動で保育園で食育の話をすることがある。

子供向けも大事だが、保護者やその他の大人への食育も大事だと感じている。
大人への食育の現状はどうか。

A: 国も大人向けの食育が課題と考えている。
子育て中の女性は、比較的関心が高いが、特に20~30代の男性は低く課題となっている。
市民への直接のアプローチは市町の担当が行い、県は食育の体制・環境を整えたり資料をつくってサポートを行っている。健康総菜の普及等で自然に、健康な食生活を送れるように支援していきたい。

Q(要望): 東伊豆町では、健康づくり食生活推進協議会が、学校の授業で食育の時間を受け持っている。

他の賀茂地域の健康づくり食生活推進協議会は、なかなか学校との連携が難しいと聞いている。
食育を国が勧めているのであれば、県から教育機関に働きかけ、健康づくり食生活推進協議会が学校での食育活動がやりやすい環境を作してほしい。

A: 賀茂の他地域でも、健康づくり食生活推進協議会が食育のため学校の調理クラブに入ったり、希望のあった小学校や幼稚園等にも入っている。また、学校での食育教育の授業は、県の教育委員会が実施している。
引き続き、食育の推進にあたり県教育委員会とも連携しながら進めます。